

市営住宅などの入居者募集

募集物件	募集戸数	受付期間	問い合わせ先
高齢者向け賃貸住宅	コーポ花山(牛ヶ原)	15戸(1DK)、4戸(2DK)	随時
市営住宅	国時団地(国時町)	4階1戸(3DK)	7月1日(金)～17日(金)
	中挾団地(中挾3丁目)	2階1戸(2DK)、3階1戸(2DK)	
定住促進住宅	国時団地(国時町)	5階1戸(3DK)	随時
優良賃貸住宅	西二番町家住宅(明倫町)	2階1戸(2LDK)	
		東二番町家住宅(元町)	1階1戸(2LDK)

※1 家賃は収入に応じて変動します
 ※2 それぞれ入居条件があります。詳しくは問い合わせください

SDGs目標 No.4.質の高い教育をみんなに

水の循環講座

SDGs目標 No.6.安全な水とトイレを世界中に

みんなと一緒に
大野の水の
勉強をしようよ!!

スイスイ課外授業の参加者募集

大野には地下水のほか、食や歴史、イトヨや天空の城など、多くの宝物があり、「水」の循環を通してつながっています。この貴重な地域資源である「水」をさまざまな切り口で学び楽しむ「スイスイ課外授業 第1回」を開催します。

日時 ①7月17日(金)午後7時～8時、②7月19日(日)午後1時～2時 ※①②ともに同じ内容
場所 越前おおの水のがっこう(明倫町3-42)
テーマ 大野の地下水と保全の取り組み(入門編)～地下水が減ったところから今も続けている大事なこと～
講師 湧水再生対策室職員
定員 各10人(先着)
申込方法 電話または電子メールで申し込む
申込締切 各開催日の前日午後1時まで
その他 講座は全6回を予定しています。2回目以降の講座開催情報は、水のがっこうや市ホームページなどでも随時お知らせします
問 湧水再生対策室(越前おおの水のがっこう内 ☎64・4813) 電子メール yusui@city.fukui-ono.lg.jp

SDGs目標 No.4

令和3年 成人式実行委員募集

市では令和3年成人式(令和3年1月10日開催)に向け、成人式の企画運営を行う実行委員を募集しています。

対象者 平成12年4月2日～平成13年4月1日生まれで、大野市成人式に出席予定の人
活動内容 8月から月1～2回程度の会議を行い、成人式で実施するアトラクションなどを企画します。また、成人式当日は式の運営をします
応募方法 氏名、住所、生年月日、連絡先を添えて生涯学習課に申し込む
応募締切 7月31日(金)

問 生涯学習課 ☎65・5590 FAX66・2885 電子メール shogaigakushu@city.fukui-ono.lg.jp

イベント・催し

認知症や介護のこと お茶を飲みながらゆっくり話ませんか?

なんでも相談できるよろず相談を実施しています。専門職がいますので、気軽に立ち寄ってください。

◆**結のカフェ(時間内のごくでも)**
日時 7月12日(日)午前9時30分～正午
場所 県民せいきょう大野きらめき
内容 座って太極拳・心も身体もリフレッシュ
定員 10人(タオル持参)
参加料 100円
申込締切 7月10日(金)
申込先 県民せいきょう大野きらめき (☎66・1211)

◆**オレンジカフェ**
日時 7月17日(金)午後1時～3時
場所 和が家(送迎可、☎69・1108に連絡してください)
内容 大人の塗り絵でリラックス
参加料 100円
◆和らぎカフェ
日時 7月26日(日)午後1時～3時30分
場所 大野和光園
内容 おやつ作りと盆踊り練習
参加料 100円
問 健康長寿課(☎65・5046)

お知らせ

口座振替を利用すると国民年金保険料の納付が割引されます

国民年金保険料の納付には、口座振替をお勧めします。

口座振替には、当月保険料を当月末に振替納付することにより、月々50円引きされる「早割制度」や、現金納付よりも割引額が多い「6カ月前納」「1年前納」「2年前納」もあります。

口座振替を希望する人は、納付書または年金手帳、通帳、金融機関届出印を持参の上、希望する金融機関または年金事務所へ申し出てください。

問 福井年金事務所 (☎0776・23・4518)

◆**大野・勝山地区縁結び結婚相談会**
日時 7月12日(日)午前9時～正午

サマージャンボは県内の市町で購入をお願いします

市町村振興宝くじサマージャンボの収益金は、市や町の明るく住みよいまちづくりに使われます。県内の市町にある宝くじ売り場で購入をお願いします。

◆**サマージャンボ** 1等・前後賞合わせて7億円(1等5億円・前後賞各1億円)
◆サマージャンボミニ 1等・1千万円
発売期間 7月14日(日)～8月14日(日)
問 (公財)県市町振興協会 (☎0776・57・1633)

◆**雑誌差し上げます**
 昨年、図書館で購入した雑誌を1人3冊まで、希望者に差し上げます。同じ雑誌に複数の希望があった場合は抽選します。次の方法で申し込んでください。
申込期間 7月21日(日)～8月2日(日)
申込方法 図書館にある所定の用紙で、掲示してある雑誌一覧から申し込む

募集

自衛官候補生・一般曹候補生募集

防衛省では、自衛官候補生・一般曹候補生を募集しています。詳しくは問い合わせください。

◆**陸上・海上・航空自衛官候補生募集**
対象 18歳以上33歳未満の男女
受付期間 随時
採用試験 男子▼9月30日(日)または10月1日(日)、女子▼9月29日(日)
◆陸上・海上・航空一般曹候補生募集
対象 18歳以上33歳未満の男女
受付期間 7月1日(日)～9月10日(日)採用1次試験(男女) 9月18日(日)または19日(日)
問 自衛隊大野地域事務所 (☎65・6325)

◆**ごみの祝日・第4日曜日受け入れ**
日時 7月23日(日)海の日、24日(月)スポーツの日、26日(水)午前8時30分～正午、午後1時～4時30分
場所 ビュークリンおくえつ
問 大野・勝山地区広域行政事務組合 (☎66・6690)

◆**結果発表** 8月18日(日)に館内で掲示
引渡期間 8月18日(日)～30日(日)
その他 申し込みのなかった雑誌は引き渡し期間中、図書館に展示し、自由に持ち帰ることができる
問 図書館(☎65・5500)

親子でチャレンジ決のぼり

月日 8月8日(日)
集合 「奥越高原青少年自然の家」駐車場
時間 ・小学1～3年生と保護者…午前9時30分～11時30分
 ・小学4～6年生と保護者…午後1時～3時
対象 市内在住のひとり親家庭の子どもと保護者
定員 午前・午後それぞれ10組まで(1組3人まで)
参加料 1人500円
その他
 ・野外で3密を避けて実施します
 ・兄弟姉妹で低学年と高学年に分かれる場合は事前に相談してください
 ・参加者には後日、詳細を送付します
 ・帰る際は奥越高原青少年自然の家で着替えなどができます

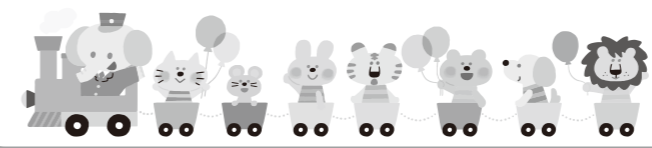


申込先 奥越前まんまるサイト
申込締切 7月31日(金)
 ※この取り組みは大野市が後援しています
図 奥越前まんまるサイト (☎67・1117 電子メール: manmarusaito@goo.jp)

ちっく・たっくの行事予定

ちっく・たっくからのお知らせ!
 ちっく・たっくの行事予定などを、ホームページ、LINEなどでお知らせします。事前予約が必要な場合がありますので、ご確認ください。

LINE QRコード ホームページ QRコード



SDGs目標 No.3.すべての人に健康と福祉を

子育て支援センターの行事予定

子育て支援センターは、子育てをしているおうちの人のなら、どなたでも利用できます。

令和2年度から、月2回 土曜日半日開きます。(第1・第3土曜日)※変更になる場合あり
図 地域子育て支援センター(結とびあ内) ☎65・7188 Eメール kosodate@city.fukui-ono.lg.jp

☆遊びの広場(たんぼぼ広場)
対象 乳幼児とその保護者
日時: 毎週月～金 9～後4 (4日(日)と18日(日)前9～正午)
場所: 地域子育て支援センター(結とびあ内)
 <<主な行事>>
 【ふれあい遊び】2日(日)前11～
 【パネルシアター】6日(日)前11～
 【ままヨガ】7日(日)前11～11:30
 【大型絵本】9日(日)前11～
 【親子リトミック】10日(日)前11～11:30

【絵本】13日(日)前11～
 【はさみでちよきちよき】20日(日)前10～※水遊びおもちゃ作り(20組まで)
 【紙芝居】27日(日)前11～
 【誕生会】30日(日)前11～※誕生児は要申込

行事は状況により人数制限を設けている場合があります

☆育児相談(電話・面接・メールで受け付けています)
日時: 毎週月～金 9～後5 (4日(日)と18日(日)前9～正午)
場所: 地域子育て支援センター(結とびあ内)

◎行事が変更になる場合があります。最新の情報は、大野市のホームページで確認してください

集まれおおのっ子 ひとり親家庭等学習支援事業

ひとり親家庭などの小中学生が参加できる学習会です。宿題で分からないところや、つまづいているところを習うことができます。
日時 11日(日)、18日(日)、25日(日)午前9時30分～11時30分
場所 旧アドバンススクール(神明町1107番地)
その他 学習会に参加を希望する人は、福祉こども課まで申請書を提出してください。申請書は市ホームページからダウンロードするか福祉こども課まで取りに来てください。郵送でも受け付けています
図 福祉こども課 (☎64・5142) 大野市母子寡婦福祉連合会 (☎65・0360)



児童デイサービスセンター くれよん教室

児童デイサービスセンターでは、ことばや発達などが気掛かりな子どもの相談や療育を行っています。いつでも問い合わせください。
 ♥子どものことばや育ちの相談(要申込)
日時: 随時開催 前9～後4
 ♥平谷医師相談(要申込)
日時: 7日(日)後2～5
図 児童デイサービスセンター(結とびあ内) ☎65・8535

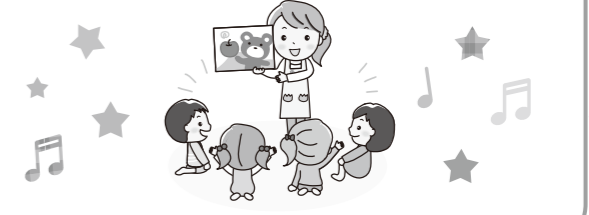
図 教育総務課 (☎64・4827)、健康長寿課 (☎65・7333)

 青少年悩みごと相談 (ヤングテレホン) ☎66・1006 奥越青少年愛護センター(市役所内)	 教育・いじめ なんでも相談 ☎0120・117415 または ☎66・7717 適応指導教室(青少年教育センター)	 子ども救急医療相談 (月～土は後7～翌前9、日祝は前9～翌前9) ☎#8000(短縮ダイヤル) または ☎0776・25・9955

保育所・認定こども園 開放日(未就園児)

☆公立保育所開放(ほのぼの広場)
日時: 7日(日)、21日(日)前9:30～11
場所: 公立保育所(あかね・荒島・阪谷・和泉)
 ☆民間保育所開放 ※見学前に保育所に要申込
 いとよ保育園 毎週月(日)前9:30～11 (要申込)
 21日(日)前10～11
 ☆認定こども園開放
 いなやまこども園 毎週月(日)前9:30～11(要申込)
 なないろ広場 20日(日)前10～11(要申込)
 ※水遊び・子育て相談(保育教諭)
 いなほこども園 毎週月(日)前9:30～11(要申込)
 なないろ広場 6日(日)前10～11(要申込)
 ※好きな遊び・子育て相談(保育教諭)
 大野幼稚園 2日(日)、9日(日)、16日(日)、21日(日)
 きらきらClub 前9:30～11:30
 ※親子ふれあい遊び・絵の具遊び・絵本の読み聞かせ・子育て相談(保育心理士)

開成こども園 毎週月(日)前9:30～11(要申込)
 上庄こども園 毎週月(日)前9:30～11
 ころころ広場 9日(日)前9:30～11
 亀山こども園 毎週月(日)前9:30～11(要申込)
 22日(日)前10～11※水遊び・泥んこ遊び
 篠座こども園 毎週月(日)前9:30～11
 子育て広場 22日(日)前10～※見学のみ(要申込)
 誓念寺こども園 毎週月(日)前9:30～11
 なかよし広場 4日(日)前9:30～11
 30日(日)前9:30～正午
 誓念寺中野こども園 毎週月(日)前9:30～11
 なかよし広場 9日(日)前9:30～正午
 25日(日)前9:30～11



◎祝日・休日の場合を除く。詳しい内容は、各園に問い合わせてください

ふるさと大野今昔物語



五箇3校集合教育：昭和46年撮影
五箇地区にあった当時の打波小学校、下打波小学校、勝原小学校の3校による集合教育のひとつです。下打波小学校の校舎に通じる橋の上で、子どもたちが元気に飛び跳ねています。

(提供：五箇公民館)



大野まつり：昭和33年撮影
日吉町周辺で撮影された、大野まつりパレードの様子です。当時、主流のボンネットトラックの荷台を飾り付けてパレードに参加しています。手前では越後獅子が舞い、たくさんの市民が食い入るように見つめています。

(提供者：川縁功さん)

大野の歴史・文化・伝統を記録した写真などを収集保存しています。家庭に古い写真などを持っている人は、ぜひ連絡してください。皆さんの協力をお願いします。

☎ 生涯学習課 (☎65・5590)

新着図書
フンフィクション
できるリーダーは失敗が9割(小山昇)▼つかず離れず婚(和田秀樹)▼小さくても「暮らしやすい家」ベスト58▼不便が残してくれたもの(池田卓)▼ベスト(カミュ)▼フィクション
任侠シネマ(今野敏)▼あとを継ぐひと(田中兆子)▼少年と犬(馳星周)▼妖(堤誉田哲也)▼カケラ(湊かなえ)

みんなの図書館

読書のススメ



『人生にSNSは不要』
宗信徳志 著
みらいパブリッシング

大野市出身の若き作家の最新著書を紹介し、著者は大学を卒業後、サラリーマンとして営業の仕事をし、23歳で独立。その後塾の講師や経営コンサルタントと幅広く活動しますが、1年で廃業。25歳で起業。現在は主夫業をしながら作家として活躍しています。短いですが、多岐にわたり、濃い人生経験から培った独自の考え方や生き方を通して、読者に「幸せに過ごすとは・・・」というメッセージを届けています。

ストレートな言葉と、分かりやすい表現で書かれていますので、中学生、高校生から読むことができます。

〔児童書〕
わたしたちのカムシずかん(鈴木海花)▼プラスチック星にはなりたくない！(レイトン)▼ごきげんな毎日(いとうみく)▼本能寺の敵(加部鈴子)▼かみさまのベビーシッター(廣嶋玲子)
〔絵本〕
とつものこしつぷ(ごんさのへんしん)▼ロン(植垣歩子)▼うりこ(ひめとあまみじやく)▼赤羽末吉)▼どうぶつクッキー(彦坂有紀)▼おぼけのジョージとびだしたけいとだま(ブライイト)▼ぼくのうた、なんだっけ？(ヨナス)

職業訓練センター 各種講座案内

各講座の締切日以降のキャンセルは、受講料が掛かります ☎ 職業訓練センター (☎65・6840)

◆ワード入門 Office2019

ワードを初めて使う人を対象に、文字入力や文章作成など基本操作を満遍なく学びます。文章を作成・編集したり、また図を挿入したりしながら操作を学びます。

日程 7月28日～9月1日の4回(8月13日は休み)
(全10回)

時間 午後7時～9時

受講料 1万円

締切 7月14日

その他 テキスト代は2200円

◆ワード入門・応用 Office2019

仕事で頻繁に使う基本機能や写真をセンス良く挿入したチラシ作成、エクセルデータを利用した差し込み印刷でのラベル作成など、ビジネスで欠かせないワードの多彩な機能を習得できます。

日程 8月19日～10月23日の4回(全20回)

時間 午後1時30分～3時30分

受講料 2万円

締切 7月29日

その他 テキスト代は4400円

お仕事のことなら「ハローワーク大野」へ

来春卒業予定の
高校生の
皆さんへ

2020サマー企業説明会を開催します！

新型コロナウイルス感染症対策として、令和3年3月卒業予定の就職希望高校生を対象とした企業説明会を、WEB上で開催します。5分程度の紹介動画による企業説明が中心になります。

就職希望者にとっては、スマートフォンやパソコンで気になる企業の情報が確認でき、質問も気軽にできます。1日限りの企業説明会とは違って、求職者が何度でも、何社でも情報確認できるのが特徴です。

詳細はハローワーク大野まで問い合わせてください。

閲覧開始 7月4日(土)午前10時～



訓練とお仕事探しに関する問い合わせはハローワーク大野まで
☎ ハローワーク大野 (☎66・2408) 〒912-0087大野市城町8-5
※相談時間は午前8時30分～午後5時15分。☎祝日は休み

募集します 求職者支援訓練受講生



求職者支援制度は、職業訓練を通じて早期就職を実現するために国が支援する制度です。制度を利用してスキルアップを目指しませんか。まずは、最寄りのハローワークに相談してください。

○次の要件を全て満たす人が対象

- ①ハローワークに求職の申し込みをしている人
- ②原則、雇用保険被保険者や雇用保険受給資格者でない人
- ③労働の意思と能力がある人
- ④職業訓練などの支援を行う必要があるとハローワークが認めた人

☎ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 福井支部
(☎0778・23・1030)



← 訓練内容や
募集の詳細は
こちらから



りな
安井 梨菜さん (中挟・35歳)

新型コロナウイルスが県内で猛威を振っていた4月中旬。市内で持ち帰り(テイクアウト)や出前ができる飲食店をまとめたサイト「TAKE OUT おおの」を開設しました。1カ月半で1万3000人(総アクセス件数約19万件)が閲覧。消費者と飲食店をつなぐまとめサイトは、大きな反響を呼びました。

このサイトを開設したのは、東京から一家で大野にUターンし、二児のママとして子育てに奮闘する安井梨菜さんです。そんな安井さんにこれまでの経緯などを聞きました。

—「TAKE OUT おおの」を立ち上げたきっかけを教えてください

新型コロナで苦しみ飲食店を応援したいという思いはもちろんですが、「子育てで頑張るママの手助けになれば」という思いも強くありました。私自身も経験しているのですが、小さい子がいると気軽に外食を楽しめません。一方でテイクアウトなら、家でゆっくりとお店の味が楽しめます。育児や家事に忙しい人を“ママ目線で応援したい”という気持ちもあって、サイトを開設することにしました。

—どのように立ち上げたのですか

サイトのシステムは、県内で最初に立ち上がった「TAKE OUT さばえ」の運営者に連絡を取り提供してもらいました。もともと、東京で勤めていた会社の広報やSNSマーケティングを担当しており、割とスムーズに立ち上げ

広告

ママ目線で大野を楽しみたい

二児のママ市民と飲食店を結ぶ虹の懸け橋に

こんにちは

ることができました。

開設当初は、手探りだったので、けっこう飛び込みでお店に声掛けし、情報を集約していきました。

—SNSやホームページで独自に「大野の子育て情報」を発信していると聞きました

前職の経験を生かし、大野の子育て情報を発信する「おおのそだち」をホームページとInstagram、フェイスブックで運営しています。ママ目線で体験したこと、面白そうだったことを紹介しているので、情報発信というより「情報のお裾分け」に近いですね。Uターンで帰ってきた時、大野の子育て情報がどこにあるのか分からず不便だったので、それならと自分で作りました。市外、県外出身のママにも見てもらいたいです。

日中はpopolo. 5内の雑貨屋「if-plant」のスタッフもしていて、リアルな場でも、ママがほっと立ち寄れる場所になればいいなと思っています。



—今後の抱負を教えてください

テイクアウトと店内飲食を今後も両立していくお店が多いと思うので「TAKE OUT おおの」は当分の間、続けていこうつもりです。

「おおのそだち」は、もう少し視野を広げて、子連れでも行きやすいお店や、子どもが喜ぶスポットを発信していきたいと考えています。また、大野には多方面で活躍しているママがたくさんいるので、そんな人たちの紹介もしていきたいですね。ハードルは上がりますが、ママ向けの就業サポートもできればと考えています。大野でママが生き生きと暮らせるようなお手伝いができれば嬉しいです。同じ思いを持っている人がいらしたら、ぜひお声掛けください。

掲載店を随時募集しています(掲載料無料)。申し込みは安井さんへメールをお願いします。

電子メール: hiiragidou@gmail.com

※大野市はこの取り組みを後援しています



ぐるーぷ登場



ひとり親家庭に寄り添って70年 大野市母子寡婦福祉連合会

大野市母子寡婦福祉連合会は、ひとり親家庭の母・父、寡婦など同じ立場にある皆さんが情報を交換しながら互いに助け合い、仲間づくりや生活の向上を目指しているような活動を行う団体です。会の前身は、戦争によって夫と死別し未亡人となった人たちが組織した大野未亡人会。戦後間もない昭和25年の結成以来、今日まで長い歴史を歩んできました。

連合会の現在の会員数は約110人。この110人は、子育てに励む母子・父子部と、子育てを終えた世代を年齢で区切った若年寡婦部・寡婦部の三部に分かれ、「母と子の健やかな家庭づくり」を目指し、いつの時代も子どものことを第一に考えて活動しています。具体的には貸付金制度や子育てに関する情報提供のほか、近年では、ひとり親家庭などの小中学生が参加でき、勉強や宿題で分からないことをフォローする「ひとり親家庭等学習支援」を行っています。また、会員とその子が一堂に会するお楽しみ会「クリスマスイベント」では、会での交流行事として、レクリエー

あなたも紙面に参加しませんか。希望する人は
秘書広報室まで ☎64・4825



ソントクラブと連携しお弁当を提供

会員を募集しています
興味のある人は、気軽に連絡してください。
大野市母子寡婦福祉連合会
梅澤子子さん
(☎65・0360)

平成20年度から会長を務める梅澤子さんは「同じ境遇の友人や知り合いがいるのは本当に心強く、昔から安心して悩みを相談できる場もありました。子が親離れし、寡婦部となった今では、親睦会や交流行事などの交流が楽しいですね」と話してくれました。

そんな連合会は、創設から今年で70周年を迎えます。これを一つの契機に、これからもひとり親家庭に寄り添いながら、新たな歩みを進めていきます。



大野市総合計画基本構想案がまとまる 審議会長と公募委員が市長に答申

5月11日、市の最上位計画として策定を進める第六次大野市総合計画の調査、審議を行う審議会が基本構想案を取りまとめ、市長に答申しました。

審議会の南保勝会長(福井県立大学地域経済研究所長)と石塚淳子副会長、川田香菜子委員、小嶋秀穂委員の4人が市役所を訪れ、取りまとめた基本構想案を市長に手渡しました。

まとまった基本構想案に対して、南保会長は「委員の皆さんが一生懸命大野市のために考えられたもの。市民と理念を共有し、一致団結して取り組んでいただきたい」と話してくれました。

市民と理念を共有し、一致団結して取り組んでいただきたい」と話してくれました。

「みどりの愛護」功労者表彰を受賞！ 市長へ喜びを報告

5月20日、「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞した越前おおの・九頭竜花桃回廊実行委員会の皆さんが市役所を訪問し、市長に受賞を報告しました。

同委員会は平成21年に設立し、これまで和泉地区に1600本以上のハナモモの植樹をしたり、ハナモモの鑑賞会を開催したりするなど、地域の魅力づくりに尽力されたことが高く評価されました。

会長の古川清澄さんは「こんな立派な賞を受賞できるとは想像もしていなかった。地元の皆さんの支援のおかげ」と喜びを語ってくれました。



思いのこもった結のメッセージ おじいちゃん、おばあちゃんへ

一人暮らしのお年寄りなどを励まそうと、市内の小中学生が思いのこもったメッセージカードを作成し市社会福祉協議会に贈りました。

この取り組みは、小中学校校長会が呼び掛けたもので、市内全小中学校の児童・生徒が思いのこもった絵に「お弁当を食べて元気に過ごしてください」などとメッセージを添えて、カード約2000枚を仕上げました。

6月2日、有終南小学校で贈呈式が行われ、市内全校を代表して同校6年生の廣瀬波力君、山田姫奈さんが

が社会福祉協議会の巻寄事務局長に手渡しました。

メッセージカードは、同協議会のお弁当配食サービスによって民生委員・児童委員、福祉委員の皆さんの手でお弁当に添えて届けられます。

えちしん経済懇話会 揮毫作品「結」を市に寄贈

6月2日、越前信用金庫の取引先でつくる「えちしん経済懇話会」の皆さんから、書家の川尾朋子さんの作品「結」を寄贈いただきました。

「結」は、今年2月に開かれた同会主催の催しで、国内外で活躍する川尾さんを講師として招き、市のブランド・キャッチコピー「結の故郷」にちなみ「結」の文字を揮毫していただいたものです。

寄贈に訪れた同会の指岡代表幹事は「コロナ禍の中で、物理的な距離を取らなければならないが、心と心をつなぐ一つのキーワードとして、結を心の中にとどめていただければ」と話してくれました。

寄贈された作品「結」は当面の間、市役所1階市民ホールで展示しています。



特命担当大臣表彰を受賞！ 消費者目線の取り組みで地域に貢献

6月10日、消費者支援功労者表彰の内閣府特命担当大臣表彰を受賞した市消費者グループ連絡協議会の皆さんが市役所を訪問し、市長に受賞を報告しました。

同協議会は昭和53年に結成され、食生活改善推進員連絡協議会などの4団体1313人で構成されています。陽明中学校と連携した生ごみの再利用と削減の取り組みをはじめ、事業者・行政と連携したレジ袋無料配布の中止など、これまでの活動が高く評価されました。

会長の齊藤博子さんは「ごみを少しでも減らして、資源に生かせたらと思い活動を続けてきた。それが認められてとても嬉しい」と笑顔を見せていました。

おいしく育ててね！！ 市内7校がブルーベリー栽培に挑戦！

6月11日、上庄地区を中心に活動する地域づくり団体「結こっさの会」が市内小学校などにブルーベリーの鉢植えを提供しました。

この取り組みは、ブルーベリーを活用したまちづくりを目指す同会が、クラウドファンディングで資金を調達し、購入・管理してきたブルーベリー鉢を希望する市内小学校などに無償で貸し出しするものです。高さ50センチほどまでに育ったブルーベリーの鉢植えは、児童らが交代で水やりをしながら、9月ごろまで育てて収穫を行う予定です。市内7校に計59鉢が貸し出されています。

同会事務局長の関園子さんは、「コロナによる休校で不安やストレスを抱えていると思うので、ブルーベリーを収穫して少しでも笑顔になってもらえれば」と話してくれました。



60th anniversary



JR越美北線



JR越美北線は今年の12月15日で還暦を迎えます。本連載では越美北線のおゆみを振り返ります。

越美北線開業 60周年記念

第5回 廃線の危機を乗り越えて

♪線路は続けよ
いつまでも

●廃線の危機から存続へ

廃線候補に挙げられてしまった越美北線でしたが、廃線対象から除外されるための条件が一つだけありました。それは「鉄道の代わりとなる道路が積雪などのため年間10日を超えて不通であること」というものでした。

この条件に当てはまるとし、越美北線の存続を願った県や沿線の市町村が陳情を重ねた結果、地元選出国会議員の尽力もあり、要望が受け入れられることになりました。

その後、昭和57年11月に国鉄が廃止対象となる赤字ローカル線33路線を決定しましたが、その中に越美北線は含まれておらず、正式に存続が決まったのです。



昭和56年の越前大野駅の様子
(提供：大野商工会議所)

●今なお続く利用促進活動

さまざまな困難を乗り越え存続している越美北線ですが、生活様式の変化や少子化・高齢化などの影響で利用者が年々減少し、非常に厳しい状況にあります。

そのような中で、利用促進団体である「越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会」は、越美北線やバスを利用したイベントや啓発活動を毎年開催。公共交通を普段から利用しない人にも利用してもらえるような機会を提供したり、駅や線路周辺の美化活動を支援したりすることで、さらなる利用促進に取り組んでいます。

皆さんもこのようなイベントや活動に参加して、越美北線や公共交通の未来を考えてみませんか。



越前大野駅前の
花壇美化活動の様子

市民のうごき

令和2年6月1日現在(前月比)

世帯数	1万1771世帯 (-22世帯)
人口	3万2569人 (-46人)
〈男〉	1万5572人 (-17人)
〈女〉	1万6997人 (-29人)

◆5月中の内訳

転入	20人	出生	12人
転出	40人	死亡	38人

今月のスナップ



心ひとつに「ONEふくい」

編集後記

九頭竜ダム直下に出現した「ONEふくい」。この文字は、電源開発(株)九頭竜電力所の社員の皆さんがアイデアを出し合い、コロナ禍で奮闘する医療従事者たちにエールを送るため、芝を刈り込んで描いたものです。とてもシンプルな文字ですが、県民一丸となつてこの危機を乗り越えたいという強い思いが伝わってきます。私自身も今一度気を引き締めて職務に励みたいと思います。



梅雨の夜、とっておきのゆきみがある。自宅近くにわずかに残る手付かずのせせらぎ。水面に乱舞する蛍の光の帯は、さながら天の川のように。コロナ禍にあつても、季節は着実に移ろいできた。

▼サクラ前線は、病める列島を希望の薄桃色に染め上げ、野山にしたたる青葉の何とまばゆいことか。自粛一色だった日々、変わらぬ自然の息吹に勇気づけられた人も多いはず▼今からおよそ七百万年前に誕生した我々人類。遙かな歴史の中で直立二足歩行を獲得した一方、特に骨盤の形状が大きく変化し、哺乳類の中で最も難産な生き物になった。だからこそ出産や子育て、狩猟に至るまで、集団で助け合い、分かち合い「共に生きる心」を育みながら命を繋いできたのである。

▼ところが世界は今、次々と襲来するウイルスとの共生時代へ。厄介な新型コロナウイルスの真の怖さは、人間たらしめる我々の絆や思いやりの心までも蝕んでいる点だ。病気の蔓延は人々の不安や恐怖心を煽り、あげくに偏見や差別という負の連鎖にまで▼第二波懸念の中、学校も再開。夏の甲子園中止を受け松坂大輔投手は「できない事を決断するだけでなく、できる事を考えるべき!!」と苦言。逆境に咲く子どもたちの笑顔をどう守るか。改めて「結の精神」が問われている!! (T・H)